

硫黄鳥島

○概況（平成 17 年 11 月）

1 日、9 日及び 11 日に海上保安庁が行った観測では、従来から見られていた噴気が認められた程度で、火山活動に特段の変化はありませんでした。

1 日、9 日及び 11 日に海上保安庁が上空から行った観測によると、島の北側に位置する硫黄岳火口（図 1、図 2）および島の中央部に位置するグスク火山火口（図 1、図 3）でそれぞれ弱い少量の白色噴気が確認されました。各火口の噴気の様子は、10 月 19 日に気象庁長崎海洋気象台が行った観測時と比べて特段の変化はありませんでした。また、島の周辺に変色海域は認められませんでした。

なお、気象研究所と東京大学地震研究所が共同で実施している地震観測によると、期間中の地震活動には特に異常はありませんでした。

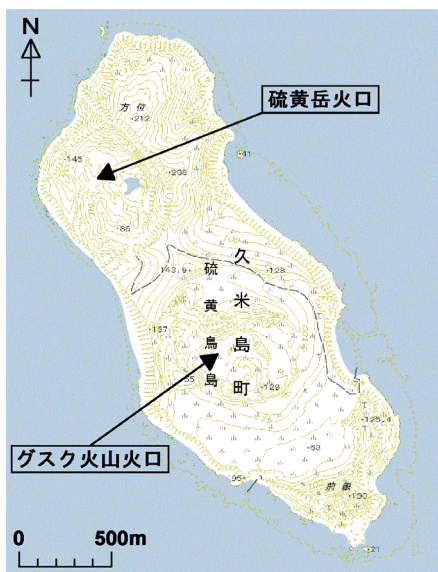


図 1 硫黄鳥島 火口の位置図

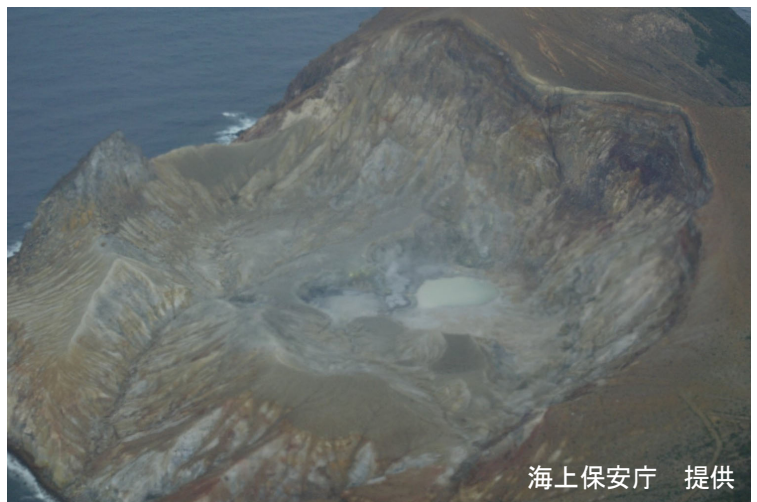


図 2 硫黄鳥島 硫黄岳火口（2005 年 11 月 1 日）



図 3 硫黄鳥島 グスク火山火口（2005 年 11 月 1 日）